

秋田県の元気な地域の活動情報満載!!

元気ムラ通信 32号

あきた元気ムラ
応援サイトは

元気ムラ で検索

「元気ムラ通信」は秋田県が運営する「秋田県のがんばる農山漁村集落応援サイト」
(通称:あきた元気ムラ応援サイト)で紹介する地域を中心に、県内の地域づくり活動を
紹介しています。

●発行日:令和5(2023)年2月15日



元気ムラサイトを
携帯電話・スマート
フォンで見たい方は
←こちらから!



根子地域(北秋田市)の根子番楽



三ツ方森(由利本荘市)の山焼き



下岩川地域(三種町)の盆踊り



岩崎地域(湯沢市)の鹿島様



横岡地域(にかほ市)のサエの神小屋焼き



白岩地域(仙北市)の白岩焼



伝えたい、受け継ぎたい 地域の「継承」の取組

皆さんの暮らす地域には、
自慢の行事や料理などがた
くさんあると思います。

人口減少の中で、どうやっ
て地域の宝を次の世代に伝
えるか。どの地域でも課題
の一つになっていますが、
先人の知恵に触れる機会は、
人の交流の場にもなります。

今回は「継承」を通じた
活動をご紹介します!



▲金沢地域(横手市)の「注
連飾りづくり」。子供たちが、
地域の先輩たちから作り方を
教わる年末の恒例行事となっ
ています。

▼鶴形地域(能代市)の「ジ
ンジョ焼き」は、有志で行っ
ていた春彼岸行事。

現在、地域として受け継ご
うと、鶴形地域まちづくり協
議会も一緒に行っています。



伝統の味

各家庭で受け継がれてきた料理。「食」は興味を持ちやすいテーマなので、楽しい活動を行えるのではないのでしょうか？



水をふきかけて蒸すと、まんべんなく、こんがり焼けるそうです♪

おやき ●福島地域(横手市)

12月8日におやきを作る無病息災の風習「病焼き」。各家庭で作られてきましたが、福島地域では、会館に集まり地域行事として行っています。みんなでのんびり楽しくおやき作り。伝統と味の継承にもなっています。

ポイント

おやきを各家庭で作る機会は減っているようで、半道寺地域(大仙市)では、住民を対象におやきなどの料理教室を開催しました。



厳冬期、軒先につるされる干し餅のカーテン、とてもきれいです♪

干し餅 ●前山地域(北秋田市)

昔から農閑期に作られてきた「干し餅」。前山婦人部では、住民の女性から秘伝レシピを教えてもらう干し餅づくり講座を開催し、技術の継承を行いました。現在も郷土の名物として、個人の方が近隣の直売所などで販売しています。

ポイント

前山では「おから入り」の干し餅の作り方が継承されました。身が締まってサクサクの食感を楽しむことができるそうです。



去年は山菜を主とした料理教室も開催しました！

煮しめ ●梅内地域(能代市)

一般的に根菜や鶏肉、椎茸などの具材を甘辛く煮込んで作る煮物のことですが、梅内山菜倶楽部の方々が作る「煮しめ」は、塩蔵した山菜や干した山菜をメインに他の具材とともに、おでんのように煮込みます。山の恵が豊富な梅内地域ならではの農閑期の料理です。

ポイント

山菜料理教室では、山菜の塩漬けと、それを戻す塩抜きの方法やアク抜きの手法などの小技も伝授されました。

伝統の技



下直根地域(由利本荘市)の正月飾り

下直根地区の老人会の皆さんが作った「スゲ」のお正月飾り。しめ縄で左右に輪を作る「めがね」が特徴で、下直根の伝統の玉飾りです。

古くから生業とされてきた技が息づいています。



戸波地域(横手市)のケラ

江戸時代に伝わったという「ケラ」。主材料の「ミゲ」など、材料の確保が大変ですが、現在も技術を受け継ぐ方がいらっやいます。



伝統の 行事

時代の移り変わりの中でも、工夫しながら行事の継承に取り組んでいる地域の活動をご紹介します。



金浦山神社の例大祭



金浦地域
(にかほ市)

5月の金浦山神社の例大祭は、住民200人以上が関わる地域の一大行事。金浦の元町町内会では、「祭りのあり方」について検討会議を10回以上開いてきました。

これまで「口頭」のみの継承でしたが、現在は祭りの手順などをまとめた申送書（マニュアル）を作成し、誰が見ても祭りの準備ができるように、写真や動画も記録しています。

また、祭りの時期は、部活動の大会や修学旅行も重なるため、親御さんたちの負担も大きいようで、祭りの練習時間の短縮なども考える必要があるなど、若手の声を聞きながら、次の世代に行事を引き継ぐ取組を行っています。

元町の祭りは、住民同士が地域に溶け込み、つながりを持つ、きっかけの場となってきました。コロナ禍で行事の中断が続いていましたが、「今年こそ」と準備を進めています。

田ノ尻の小正月行事



小神成地域
(大仙市)

小神成地域の田ノ尻集落では、2月に「天筆（てんぴつ）」「雪中田植え」「紙風船上げ」と、3つの小正月行事を一緒に行っています。

行事の一つである雪中田植えは、以前は個々の農家の行事でした。しかし、農業の変遷と共に、個人で行うことがなくなったので、天筆などの集落行事と一緒にしています。

また、雪中田植えは家々で異なる方法だったため、地域の長老に聞き取りし、集落共通の手法を検討してまとめた「覚書」を作成するなどして、行事を継承してきています。

小正月行事の一番の悩みは、稲わらが手に入らなくなったことです。住民の皆さんが刈り取って天日干しし、行事に必要な稲わらを確認しています。

時代と共に行事の形は変わってきましたが、「五穀豊穡」を願う住民の皆さんの姿は、今も、田ノ尻集落に受け継がれています。

恵比寿俵づくりの継承



岩崎地域
(湯沢市)

岩崎地域では、伝統の初丑まつりで、神社に奉納する「恵比寿俵」を一人で製作できる方が皆無になっていました。『このままでは恵比寿俵の奉納ができなくなってしまう』と、町内有志が集まり、鹿島様衣替え用に保存していた稲わらを使用し、皆で力を合わせて製作することになったのです。

「俵編み」「さんだわら作り」「しめ縄」のパーツ作りに優れている先輩たちから指導を賜り、それぞれのパーツを作り上げ、その後パーツを組立てると担ぎ棒がスムーズに抜け、なおかつ頑丈に仕立てることができました。組立てに関しては皆で試行錯誤しながら、何とか完成にこぎ着けたのです。

『やってみなければ分からない』『やればできるかも』という思考で挑んだことで形になりました。この先も技術を磨き、自前の恵比寿俵を作り、伝統をつないでいくことを皆で誓い合いました。

2022年11月～2023年1月の各地域の活動ギャラリー集♪

こんなことも
ありました!!



院内地域(湯沢市)の
味噌づくり♪



鹿渡地域(三種町)の
ごはん会♪



石沢地域(由利本荘市)の
筒けん教室♪



檜山地域(能代市)の
子ども冬まつり♪

地域活動の
ヒント

地域について、こんなことで、悩んでいませんか？



「あきらめる」のは、ちょっと、早いかも！

その1 集落活動コーディネーターとお話してみませんか？

秋田県地域づくり推進課には、集落活動コーディネーター(集落支援員)が在籍し、地域の情報発信などのお手伝いをしています。



じねこ 笹子地域(由利本荘市)の場合

昨年、笹子地域は関係人口づくりの一環で地域をPRするオンライン交流会などを行いました。そのきっかけは、集落支援員との雑談でした。初めての取組に不安もありましたが...

コロナで行事が中断してるなんとかしたい.....

自分たちにはハードルが高いんじゃ...

まず、やってみようか！

実際にやってみて!!!

これまで、同世代の役員だけで集まっていたが、若い世代が関わるきっかけになったそうです!!

笹子地域・佐藤耕一さん

笹子地域づくり実行員会の一員として、地域を紹介するプレゼン資料作成、動画撮影、実際に関係人口の方々へのプレゼンと、笹子での交流を通して、自分自身、地域の良さを再確認できたのが、大きな収穫でした。今回、関係を持つことができた人々に、今後も笹子の魅力を発信し続けていくことが大切なのは考えてます。

オンラインで笹子地域をPRする佐藤さん



その2 できることを一緒に見つけましょう！

例えば...

うちの地域には自慢の行事や景色がある!!



雪祭り、イルミネーションたくさん!

スマホで写真は撮ってる!

恥ずかしいけど...

いろんな人に見てもらいたいけど...

でもSNSやったことないし...

地域の写真1枚があれば元氣ムラのSNSやHPで情報発信できます! お気軽にご相談ください♪

編集後記

「おやき」づくりの取材の際、昭和の始めころは、鉄鍋を使って餅を焼いたと教えてもらいました。青スギの葉を採取してこれを洗い、何日もかけて乾燥させて鉄鍋の中を拭くと、スギの油がよく出て、香りのよいふっくらとしたおやきができたそうです。先人の知恵にはいつも驚かされます。

元氣ムラ通信のご感想・ご意見もお待ちしております!

【発行】秋田県 あきた未来創造部 地域づくり推進課 (元氣ムラ支援班)

●所在地 / 〒010-8570 秋田県秋田市山王四丁目1-1 ●電話 / 018-860-1215 ●FAX / 018-860-3875 ●E-mail chiiki@pref.akita.lg.jp